学校番号	３０４

令和３年度　芸術科　音楽

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野を年間通して学習します。
■学習の到達度は、個別にグレード別実技テスト、自由曲の演奏発表会、鑑賞レポート、グループ創作作品、楽典・音楽史の筆記テストで評価します。
■音楽を通しての芸術活動を目指します。様々なものを吸収し、美を探究し、それを表現し伝えていくことを目標とします。
■音楽が、生涯ずっと皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽の形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌い上げよう	【歌唱・器楽】 アカペラコーラス 世界に一つだけの花 (文化祭ステージ) バンドアンサンブル 　生徒による楽曲選択 (文化祭ステージ)	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ウクレレで弾き語りに挑戦してみよう	【器楽】 ウクレレの基本的奏法 よろこびの歌 埴生の宿 風になる(弾き語り)	○	○	○		a:ウクレレの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それを生かして表現を工夫している。 c:弾き語りするために必要なウクレレの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	グループ創作作品を作ろう	【創作】 楽典 音名、五線譜への記譜、音価 グループ創作（参考にしたい曲の楽曲分析）	○	○	○	○	a：グループで創作する上で参考にしたいジャンルの楽曲を探求し、よさを話し合い、主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、自らの作品に関わらせてどのように創作・演奏するか、表現意図を持っている。 c：表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。 d： 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽を聴く力をつけよう	【鑑賞】 白鳥の湖 交響曲第6番「悲愴」より ピアノでたどる音楽史 　バロック、古典派 バッハ「フランス組曲」より モーツァルト「ピアノソナタ」より ベートーヴェン「ピアノソナタ」より	○			○	a：ピアノの生演奏や管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d： 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	五部門テスト	【歌唱・器楽・創作・鑑賞】 発表会（自由曲） 1独唱、2独奏、3アンサンブル、4創作、5鑑賞レポートによるテスト 1～3は発表、4～5は提出	○	○	○	○	a：歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c：表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。 d： 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 演奏の聴取
	グループ創作作品の完成	【創作・歌唱・器楽】 グループ創作作品の完成 第1チェック 歌詞先行、メロディー先行、コード先行を選択し1ｺｰﾗｽ分できているかチェックする。 第2チェック 1ｺｰﾗｽ分演奏できているか聴取する	○	○	○		a：歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c：表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽を聴く力をつけよう	【鑑賞】 トゥーランドット ウエストサイドストーリー ピアノでたどる音楽史 ロマン派、近現代、ジャズ ショパン「スケルツォ」より リスト「パガニーニ大練習曲」より ドビュッシー「ベルガマスク組曲」より アイ・ガット・リズム	○			○	a：ピアノの生演奏や管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d： 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

3学期	グループ創作作品の録音	【創作・歌唱・器楽】 グループ創作作品の録音 録音作品をクラス内で鑑賞	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	五部門テスト	【歌唱・器楽・創作・鑑賞】 発表会(自由曲) 1独唱、2独奏、3アンサンブル、4創作、5鑑賞レポートによるテスト 1～3は発表、4～5は提出 希望者	○	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための演奏の技能を身につけている。 d: 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。